

## ⑫ 公開特許公報(A)

平2-238038

⑤Int.Cl.<sup>3</sup> 識別記号 庁内整理番号 ⑬公開 平成2年(1990)9月20日  
 C 08 L 23/26 LDA 7107-4J  
 C 08 K 3/14 KET 6770-4J  
 //(C 08 L 7/14 KFT 6770-4J  
 23/26  
 23:08)

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全7頁)

⑭発明の名称 強化ポリプロピレン組成物

⑮特 願 昭63-280328

⑯出 願 昭63(1988)11月8日

⑰発明者 植 野 光 平 大阪府堺市築港新町3丁1番地 宇部興産株式会社堺工場  
 内  
 ⑰発明者 赤 川 智 彦 大阪府堺市築港新町3丁1番地 宇部興産株式会社堺工場  
 内  
 ⑰発明者 中 野 善 文 大阪府堺市築港新町3丁1番地 宇部興産株式会社堺工場  
 内  
 ⑰出 願 人 宇 部 興 産 株 式 有 限 公 司 山口県宇部市西本町1丁目12番32号

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

強化ポリプロピレン組成物

## 2. 特許請求の範囲

## (1) 全組成物中

(a) 有機シラン系化合物もしくは不飽和酸で変性された変性ポリプロピレンまたは未変性のポリプロピレンを含む変性ポリプロピレン 45～75重量%

(b) エチレン・プロピレン系共重合体 3～20重量%

(c) ガラス繊維 2～12重量%

(d) 平均粒子径 40～160μ、アスペクト比 30～85のマイカ 15～35重量%

からなる強化ポリプロピレン組成物。

(2) (d)成分のマイカが、平均粒径40～90μ、アスペクト比が30～65であるマイカ(A)と、平均粒径90～160μ、アスペクト比が40～85であるマイカとを、(B)/(A) =

0.25～4の重量割合で用いることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の強化ポリプロピレン組成物。

## 3. 発明の詳細な説明

## 〔産業上の利用分野〕

本発明は、強化ポリプロピレン組成物に関するものである。さらに詳しくは、本発明は、高剛性、高耐熱性および反り変形防止に優れた成形体を製造するのに適した無機充填材を含有する強化ポリプロピレン組成物に関するものである。

## 〔従来の技術および問題点〕

ポリプロピレン成形品の機械的強度、剛性、耐熱変形性などを改良するために各種充填剤、例えば、ガラス繊維、炭素繊維、ウイスキー、金属繊維などの繊維状の充填剤、マイカ、タルク、カオリナイト、ガラスフレークなどの板状の充填剤、炭酸カルシウム、ケイ酸土、アルミナ、ガラスビーズなどの粒状の充填剤などをポリプロピレンに配合することは従来より行なわれ、すでに広範な用途に用いられている。